

---

# あゝ携帯の不便さよ

水戸藩士

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

あゝ携帯の不便さよ

### 【Nコード】

N92810

### 【作者名】

水戸藩士

### 【あらすじ】

ちよつとしたジョーク小説

携帯端末といふものは、この「小説家になろう」なるクモの巣情報網上のサイトを読むのに、まことに便利な品である。

何も、愛の本（近頃ではアイ・ロボットとか言う新型が発売されたりしい）だとか、ハロルドロイドだとかいう名の、メリケンから輸入した「スマート電話」と呼ばれる類でなくとも良いのだ。

ガラパゴス諸島の如く、素晴らしい独自進化を遂げたといわれるわが日本の「ガラK」なる携帯端末でも、読むだけならば十二分に便利なのである。

寧ろ、何処でも暇さえあれば作品を読む事が出来る、素晴らしい道具だ。

そう、「読むだけ」ならば。

いざ書くとなれば、パーソナルコンピュータのキキボードのタイピングに慣れた我が両の手では、些か入力に難儀する。

ポチポチと小さな携帯ボタンを幾度も押すのと、ローマ字をカタカタと次々入力出来るパーソナルコンピュータでは、やはり執筆速度に差が出てしまうのだ。

しかも、である。どうやら、我ら携帯ユーザーを、タイチュ（携帯端末しか扱えない餓鬼並の馬鹿野郎、という意味らしい）と蔑視する風潮が広がっているようだ。

迷惑千万である。携帯の特徴を生かしているだけであるのに、パーソナルコンピュータの扱いが不自由だと言われているのは、甚だ不愉快だ。

だいたい、いくらパーソナルという名が付いていようとも、小さ

くてせいぜい一尺四方の物体を常に持ち歩く事など、常人には難しいのではなからうか。

我らは我らをタイチュと見下す彼らと違い、いや寧ろ大多数の間は、パーソナルコンピュータを持ちながら操作をするといふような、大道芸人並に器用な真似は出来ぬ。

その点、我らが携帯端末殿は片手に収まるサマズで、それでいて我々が立ち尽くしたまま文章を入力出来る、優れものであらせられる。

これに一尺四方のキヤードを取り付ける事さえ出来れば、パーソナルコンピュータなど恐るるに足らずであるのだが。

（後書き）

結局、一長一短なんですよね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9281o/>

---

あゝ携帯の不便さよ

2010年11月15日03時49分発行